

# 日本、前月比13%減

## ゼポ・4月の米国東航荷動き

### 震災による輸出減で

米国のゼポ・コーポレーション(Zepol Corporation)の本発米国向け貨物は東日本大震災による輸出減の影響を受けて、前月比13.1%減で前年同月比ベースではほぼ横ばいの5万341TEUとなった。特に震災の影響が大きい自動車部品・タイヤ主要輸出入企業25社の合計輸出量は前月比17.7%のマイナス。釜山経由のトランシップ貨物も前月比13.6%と大幅に減少している。

ゼポ社の統計では、3月実績には震災の影響が現れていなかったものの、4月からは如実に影響が出始めている。日本国内の主要港別に見ると、前月に比べて

4月荷動き(単位: TEU、母船積み地ベース)

積み地	貨物量	前月比	前年同月比
中国	621,738	26.9%	9.0%
韓国	119,567	4.0%	▲1.6%
香港	86,941	11.6%	▲18.3%
台湾	72,603	1.0%	5.3%
日本	50,341	▲13.1%	0.0%
シンガポール	40,563	▲4.6%	▲10.8%
ベトナム	15,793	47.1%	55.9%
タイ	13,679	3.5%	▲7.8%
インド	11,922	▲15.8%	▲14.4%
マレーシア	12,570	20.9%	3.9%
合計	1,045,717	15.7%	3.1%

Zepol Corporation Trade IQから

横濱港・東京港がそれぞれ29.6%、17.0%のマイナス。清水港・名古屋港も10.9%、7.6%のマイナスだった。一方、神戸港および大阪港はそれぞれ10.1%、4.9%の増加となっている。震災後、

輸出企業は当面の出荷在庫でしのいだことで、3月実績には影響が出ず、4月から出荷減が顕著になり始

めたものとみられる。

一方、その他の各国の4月実績は表のとおり。中国は前月比で26.9%増と大幅

な増加となっており、前年同月比でも9.0%と高水準の増加となった。これが荷動き全体を牽引し、全体では15.7%増、前年同月比では3.1%増の104万5717TEUとなっている。

#### SITC

#### 被災地に救援物資無償輸送

SITCコンテナライズ(日本総代理店)SITC(Cジヤパン)は家具製造販売大手のニトリホールディングスの依頼を受け、東日

#### 港運車

日本運協 久保

日本運協は11日の定日本大震災に者の被害額がたことを明らかに被害額は荷

## 商船三井 高品質サービス追求

### 1~3月 東西航路の定時到着率

商船三井は11日、東西コンテナ航路の定時到着率を公表した。同社は高品質の

サービスを追求するため、輸送品質および各航路の状況開示に努めており、その

一環として四半期ごとに公表している。対象期間は2011年1

3月、対象航路はアジア、北米西岸、同一北米東岸、同一欧州(往航・復航)、大西洋航路。最初に寄港す

1. 全サービス (注1)			
年	2010年	2010年	2011年
6月	7月~9月	10月~12月	1月~3月
%	98%	97%	93%
%	84%	86%	83%
%	83%	85%	50%
%	93%	89%	92%

同社運航サービス、共同運航サービス、他社運航サービスを含む

2. 同社船投入サービス (注2)			
年	2010年	2010年	2011年
6月	7月~9月	10月~12月	1月~3月
%	99%	100%	90%
%	64%	72%	69%
%	79%	81%	56%
%	94%	84%	94%

同社運航サービス全8サービスを対象とする

なお、運航

#### 高麗海運が現代尾浦造船に

#### 2800 TEU型船2隻を発注

高麗海運は韓国現代尾浦造船に2800TEU型2隻を、高麗海運グループは昨年

ク・インターナショナル・ライズ(PIL)から2800TEU型2隻、プラス・オプション4隻を受注し、約3年ぶりに2000

0年4月~11年3月)

#### 阪神―上海で新サービス

川汽、今月後半から週